

# with Dignity

金城学院の明日を見つめる [ウィズ・ディグニティ]

金城学院報

2022.  
12  
vol. **40**

50th Anniversary

2022年、金城学院幼稚園は  
設立50周年を迎えました。



「愛され、育ち合う。」をモットーに  
これまででも、これからも。

## 建学の精神を受け継ぎ 次の50年へ。

金城学院幼稚園  
園長 児玉 芽



2022年、金城学院幼稚園は設立50周年を迎えました。学院の内外を問わず多くの方々に支えていただきながらこの節目の年にたどり着き、さまざまな形で記念事業を実現できていることに対して、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、この記念の時を迎えるにあたってさまざまな書籍や記録を振り返りました。そして改めて、園に関わってこられた諸先輩の先生方のご苦労や想い、歴代の保護者の方々の支えに触れ、胸が一杯になりました。そして、半世紀前の幼稚園建学の精神に立ちかえり、学院に小さな一校である幼稚園が置かれた、その意味を再確認して、次の50年につなげなければという思いを新たにしました。

幼稚園設立以来、初代園長戸近太郎先生の「子どもは発達が違うから一人ひとりの違いを大事にし、それぞれを生かした保育をしてほしい」という教育理念のもと、西川道子先生（設立時主任、後に第2代園長）をはじめとして、歴代職員がそれぞれの時代状況の中で望ましい保育の姿を模索し続けた様子が金城学院幼稚園「30年のあゆみ」に綴られています。西川先生はそこで、倉橋惣三の著書「育ての心」中の言葉を引用して、目の前の子どもの姿に寄り添う

中で、子どもも保護者も保育者もともに育っていく「共育」を意識して、保育者集団自身が学ばせていただいていることを意識することの大切さについて述べておられます。その理念は、50年の歴史の中で園長や保育者が変わっても、「お子様を、ご両親と共に神様からお預かりしたかけがえない存在として見つめ、その一人ひとりを大切に保育をめざす」という意味で、現在の「愛され、育ち合う。」というスクールモットーに受け継がれています。

一方で揺らぐことのない基本理念のもとであっても、実際の歴史の流れの中では園の規模や社会状況などさまざまなことが変化します。そして、そのたびごとに、その状況のもとで大切にしていることを実現するために新しい形を模索する必要があります。現在のコロナウイルス感染症への対応もそうですが、設立以来大切にしてきた理念を社会や時代に即した形で日々の保育の中に実現し続けることは簡単なことではありません。それでも、本園ではたて割り自由保育の導入など、この50年の間にいくつもの新しい試みに挑戦することができました。そして、その一つひとつは、多くの保護者の方々や、学院内外の方々が、さまざまな形で支えてくださったことにより実現しています。多くの制限がある今日の困難な状況の中でも、本園の父母の会はむしろ活発に活動され、新しい有志の会が立ち上がってもあります。本当に感謝しております。

本園の保育は、まさに「子ども、保護者、保育者と一緒に創り上げていく」ものであるからこそ実現しています。これからも子どもたちの心の内面で育っていく目に見えない成長に心を注ぎ、建学の精神を大切に保育にあたって参りたいと思っています。今後ともよろしくご支援くださいますようお願い申し上げます。



# 金城学院幼稚園 50年のあゆみ



## 4月 金城学院幼稚園開園

1972

4歳児10名、5歳児4名に対し、園長1名、教諭2名でのスタートでした。

第2代園長に西川道子が就任。

## 3・4・5歳児混合クラス編成

1976

3歳児の受け入れが始まり、現行の3・4・5歳児混合クラス編成となりました。

第3代園長に内藤徹(金城学院大学家政学部教授)が兼任。氏の尽力により新園舎建築が実現、園児増員に伴い5クラス体制となりました。



1982

1995

第4代園長に加納真知子が就任。

2000

第5代園長に馬淵宣子が就任。

2009

## 「預かり保育」を開始

1、2月にトライアルを行い、4月から通常保育後も16時まで幼稚園で過ごすことのできる「預かり保育」を開始しました。

2013

## 満3歳児保育を開始

満3歳児は5月から入園が可能となり、9月に定員12名が揃いました。

2017

## ソニー幼児教育支援プログラム優秀園受賞

「科学する心」を育む環境としての園庭に焦点をあて、園生活や園庭ワークを通して子どもも大人も育ち合う実践論文が評価され、ソニー教育財団主催2018年度ソニー幼児教育支援プログラムの優秀園に選ばれました。



2018

## 「こすずめの会」がスタート

これまで行ってきたプレ幼稚園や園庭開放を10月から「こすずめの会」と改称したもので、0歳児～2歳児を対象に、毎月定期的に行われています。



## 「ソニー幼児教育支援プログラム優秀園実践提案研究会」を開催

公開園庭ワークの後、実践発表・グループ協議を行い、最後は玉川大学教育学部教授若月芳浩氏による講演、というプログラムで実施し、全国の幼稚園保育園や大学などから100名以上の参加があり、ともに学びを深めました。

2019

満3歳児保育のニーズに応えるため保育室を増築し、9月より定員を18名に。すぐに定員が満たされました。

2020

新型コロナウイルス感染防止対策のため全国に非常事態宣言が発令され、休園、分散登園などの措置をとりながらの保育が続けられました。

第6代園長に児玉芽が就任。

年間を通して新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。

2021



## 設立50周年

幼稚園設立50周年を迎えました。

2022



ようちえん50しゅうねんおめでとうございます！





## 50周年記念事業・取り組みのご報告



2022年9月

### 園庭整備および新遊具の設置

2022年夏、園庭に築山の高低差を生かした雲梯と、ターザンロープを使ったロープウェイが新たに誕生しました。保育者がアイデアを出し合い、立案した金城オリジナルの遊具で、設計から完成までには多くの学院関係者の方々、業者の方々が携わっていただきました。

2学期の始業礼拝をした9月2日には、新しい遊具の完成お披露目会を実施。この日は在園児とその保護者、学院関係者、そして工事に携わってくださった方々もお迎えして遊具の完成をお祝いしました。これから子どもたちが新遊具をどのように使い、新しい遊びをつくっていくのか、とても楽しみにしています。



楽しいよ~!!



工事は子どもたちがお休みする夏休み中に行われました。猛暑の中で工事を進めてくださった皆さま、本当にお疲れさまでした。



お披露目会では、年長さんから夏期保育中から準備をしてくれた歌「ありがとうの花」やメッセージで、幼稚園50周年おめでとう!の気持ちを伝えました。

2022年10月24日(月)

### 父母の会記念講演会



父母の会では毎年さまざまな分野の講師の方をお招きして講演会を開催しています。設立50周年を迎える2022年度は、山梨大学名誉教授の加藤繁美先生をお迎えして、「子どもと歩けばおもしろい」をテーマに、子どもの心の育ちと大人の関わり方をお話いただきました。対面での講演会は3年ぶりということもあり、当日は70名もの方々にご参加いただきました。

「子どもと歩けばおもしろい」をテーマに、子どもの心の育ちと大人の関わり方をお話いただきました。対面での講演会は3年ぶりということもあり、当日は70名もの方々にご参加いただきました。

### 「エントランス de KINJOカフェ(仮称)」開設!



在園保護者や卒園保護者からの「おしゃべりする場がほしい」という要望に応じて開設したカフェ(と言いましても、まずは「場所のみの提供」となります)。エントランス北側のテント下を定期的に開放し、場所とベンチ、机などを提供することで、園にゆかりのある皆さまが自由に集まり、お喋りを楽しめる場となっています。設立50周年をきっかけに、卒園生の保護者の方々も含め、今まで以上に「縦」の関係でつながりませんか?

### 新しい遊びのコーナー 『お手伝い父さん母さん 新コーナー』

設立50周年を機に、日常の保育の中でも新しい試みに挑戦したいと考え、新しい遊びのコーナーを開設することになりました。これまで「ハンドベルコーナー」や「トントンコーナー(造形)」など、月1回程度遊びのコーナーを開設してきましたが、そこに身体を動かすコーナーを新たに加え、バランスボールのインストラクターをされているおうちの方とともに「バランスボールコーナー(仮称)」に挑戦します。まずは年長児を対象に行い、徐々に参加者を増やしていけたらと思っています。





2023年

## 開催予定の行事のご案内

2023年8月26日(土)

### 50周年記念同窓会・ホームカミングディ

この日は園を1日解放。保育室や園庭を自由に巡って、思い出話に花を咲かせてください。園児、保護者、卒園生、ご近所の方、どなたの参加も大歓迎です。遊戯室では昔懐かしい写真やアルバム、卒園制作などの展示も行います。

2023年8月26日(土) 午後

### 50周年記念礼拝・記念コンサート

金城学院大学のアニー・ランドルフ記念講堂で、設立50周年の記念礼拝と記念コンサートを行います。保護者の方々の素晴らしい演奏やパフォーマンスをお楽しみください。

2023年9月(予定)

### 50周年記念バザー(父母の会主催)

お父さんやお母さんがゲームコーナーやこどもマーケットを開いてくださり、みんなで楽しい一日を過ごします。この日は子どもたちも、お花屋さんや自分たちが作った作品をおまけにするなど、自分たちのできることで協力します。



## 設立50周年を迎えて ～職員の声～

### 園全体が温かさと満ちあふれている。

公立の保育園で保育に携わって10年。その後、ご縁をいただいて本園に入職しました。ここに来てまず感じたことは「あったかいな」ということ。子どもたちはもちろん、保護者の方や保育者も互いに支えあい、つながっています。卒園生やその保護者の方も折にふれて遊びに来て園での生活を懐かしんでくださったり、園庭ワークや行事などで力を貸して下さるなど、卒園してからでも園とずっと繋がっていることが素晴らしいと思いますし、なかなかないと思います。今年で設立50年。保育者としてこの節目の年を迎えられるのはとても嬉しいことです。同時に先輩たちが築き上げてきた歴史の重みも感じています。子ども一人ひとりの気持ちを何よりも大切にする保育、遊びの中から子どもたちの生きる力を育む保育、保護者や卒園生との温かいつながりなど、本園の良さ、強みを存分に生かし、さらに良い保育につなげていくことができるように、職員みんなで努めていきたいと思っています。



白井安希  
(主任)  
2007年入職

### 保護者と連携して子どもの育ちを支える。

私自身この園の卒園生で、卒園後もたびたび遊びに来ているうちに、本園の保育者になることが私の夢になりました。あいにく大学卒業時には募集がなく、公立の保育園に入職。子育てで一度仕事を離れましたが、園から声をかけていただき、念願が叶いました。本園の特色は、保育者もおうちの方も、一緒になって子どもを見て、育てていること。文字通り「愛され、育ち合う。」保育を実践しています。今のコロナ禍もそうですが、時代や社会の変化の中で行事の変更・中止を余儀なくされることがあります。「じゃあ、他に何ができるだろう」と、スタッフみんなで時間をかけて話し合い、できることを精一杯やる。そこには喜びや感動がたくさんあり、それが50年間変わらない園の姿なのだろうと感じます。また、どんな状況にあっても子どもたちのことを思い、支えてくださったおうちの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。



水野梨奈  
2018年入職

## 幼稚園ホームページにて50周年記念ページ公開中!

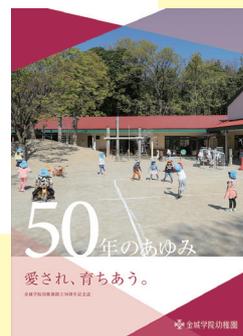


金城学院幼稚園のホームページで「50周年記念ページ」を公開しています。ページを開くと、懐かしい写真や記念行事の様様、お知らせなど、楽しい情報が満載。新たな情報などもこのウェブサイトですぐご覧いただけますので、皆さまぜひご覧ください。



## 50周年記念誌 ただいま制作中!

50周年記念事業の一環として、現在50年の歩みをまとめた記念誌を制作しています。歴代園長による対談、園の様子や取り組みなど、50年の歴史がこの一冊に記されています。



<https://www.kdgt.kinjo-gakuin.jp/50th/index.html>

人々の健康と生活をいかに支えるか。

教育も研究も、そこに根ざしています。

日本の保健医療を取り巻く環境が大きく変わろうとしているなか、教育者として、また一人の研究者として、さまざまな課題に向き合い、多分野の専門家と協働しながら解決策を探っている上杉裕子先生。教育・研究活動の場も、地域から日本全国へ、そして世界へと広がっています。しなやかに、力強く、自身の可能性の扉を開けていくその姿は次代の看護を拓いていく学生たちの、よきロールモデルでもあります。



### 臨床の看護師から教育者の道へ。

仕事をもち、自立した女性になる。それが私の小さい頃からの目標でした。そのためには資格を持つこと。そして、医学への興味があったことから看護師になろうと決意し、看護専門学校に入学しました。卒業後は看護師として7年間病院に勤務し、内科、整形外科、オペ室を経験。病院では看護学校から来た実習生の指導をする機会もあり、「あれも教えたい、これも教えたい」という思いがあふれ、いつしか看護教育に興味を持つようになりました。

その後、信頼している先生から声をかけていただき、広島国際大学で実習指導者となり、教員への一歩を踏み出しました。当時は看護系大学・大学院の増加に伴って教員数が不足していたこと、私自身、看護学の研究を深めたいという思いもあって大学院進学を決め、大阪大学に入学。6年間学業に専念して、修士号と博士号を取得しました。大阪大学修了後は、神戸大学大学院保健学研究所で教員として16年間勤務。そして2022年4月、看護学部の新設に伴って本学に赴任。名古屋という新たな地で、新しいスタートを切りました。

### 看護の視点で整形外科患者さんのQOLを高める。

取り組んでいる研究は、「整形外科看護」と「国際看護」。整形外科看護の研究を始めたきっかけは、整形外科病棟で人工股関節置換術を受けた患者さんと出会い、さまざまな課題に気づかされたこと。例えば患者さんは手術をすれば症状が改善する一方で、脱臼の恐れがあるので正座が難しく、昼の生活が多い日本では不便な思いを強いられること。リハビリテーションに取り組めず後ろ向きな患者さんもありました。そんなことから整形外科患者さんの生活の質(QOL)に着目し、探求を続けています。最近では、厚生労働省の「難病患者の支援体制に関する研究班」に看護師として参加し、「特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究」にも取り組んでいます。

一方、国際看護は前任の神戸大学がグローバル教育に力を入れており、所属していた医学部保健学科でもタイやインドネシア、ネパール、フィリピンなどの大学や研究所との共同研究を通じて国際保健研究活動を積極的に行っていました。また、スペイン(バルセロナ)での国際会議、イギリス(リバプール)での病院見学、ニューヨーク



## 上杉 裕子 教授

UESUGI Yuko

金城学院大学 看護学部  
看護学科 教授

広島県立広島看護専門学校卒業後、看護師として7年間病院勤務。広島国際大学での実習指導者を経て、大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻に入学し、博士号を取得(看護学博士)。神戸大学大学院保健学研究科で16年間教員を務めた後、2022年金城学院大学へ(教授)。

専門分野:基礎看護学、臨床看護学、国際看護学  
所属学会:日本保健医療行動科学会(評議員)  
日本運動器看護学会(査読委員)  
日本糖尿病教育・看護学会(編集委員)  
日本股関節学会  
日本国際保健医療学会 他多数

の国連訪問なども、研究者としての視野を広げる良い機会となりました。国や地域によって医療格差や制度の違いはありますが、看護の本質は世界共通。世界のどの国に行っても、同じ看護師同士だからこそ分かり合えることがあり、すぐに仲良くなれる。それが看護師という仕事の魅力です。

### 金城学院大学の国際交流を発展させたい。

来年度から私の担当する「グローバルヘルス看護学」が始まります。グローバル化が進み、日本の在留外国人が増加する中で求められるのは、文化や宗教、生活習慣、ジェンダーなど、人々の健康と生活に深く関わる多様な文化をきちんと理解し、患者さん一人ひとりの気持ちや意思を尊重した支援ができるスキルを身につけること。授業の中では、タイのチェンマイ大学とオンラインでつなぎ、タイの地域医療についての講義もしてもらおう予定です。コロナ後にはタイと日本の学生間交流も行い、グローバルな視野と、生きた語学力を養ってほしいと思っています。4年間の学びで、国内はもとより、開発途上国や医療先進国でも活躍できる人材を育てたいと思っています。

私と堀口久子先生、二人がアドバイザーとして担当する学生たちと。彼女たちとは4年生まで継続して関わり、学修支援や困りごとの相談に乗ります。



### 上杉裕子先生の活動アルバム



タイ国チェンマイ大学の教員と食堂前のお庭で。前任の神戸大学医学部保健学科看護学専攻では4年生の学生と共に2週間の看護学実習を実施するなど、チェンマイ大学は最も頻繁に訪れた交流大学です。



大学院生と共にチェンマイで行われた「東アジア看護学研究者フォーラム」に参加。お揃いのシャツは交流しているチェンマイ大学教員からのサプライズプレゼント!



インドネシアのガジャ マダ大学でのセミナーではゲストスピーカーを務めました。

教えて先生!

### My Favorite

コーヒーが大好きで、その時間を楽しんでいます。特に美しいコーヒーカップを眺めるのが好きで、デパートの食器特選売場でカップをうっとり見ている女性がいたら、それは私です(笑)。



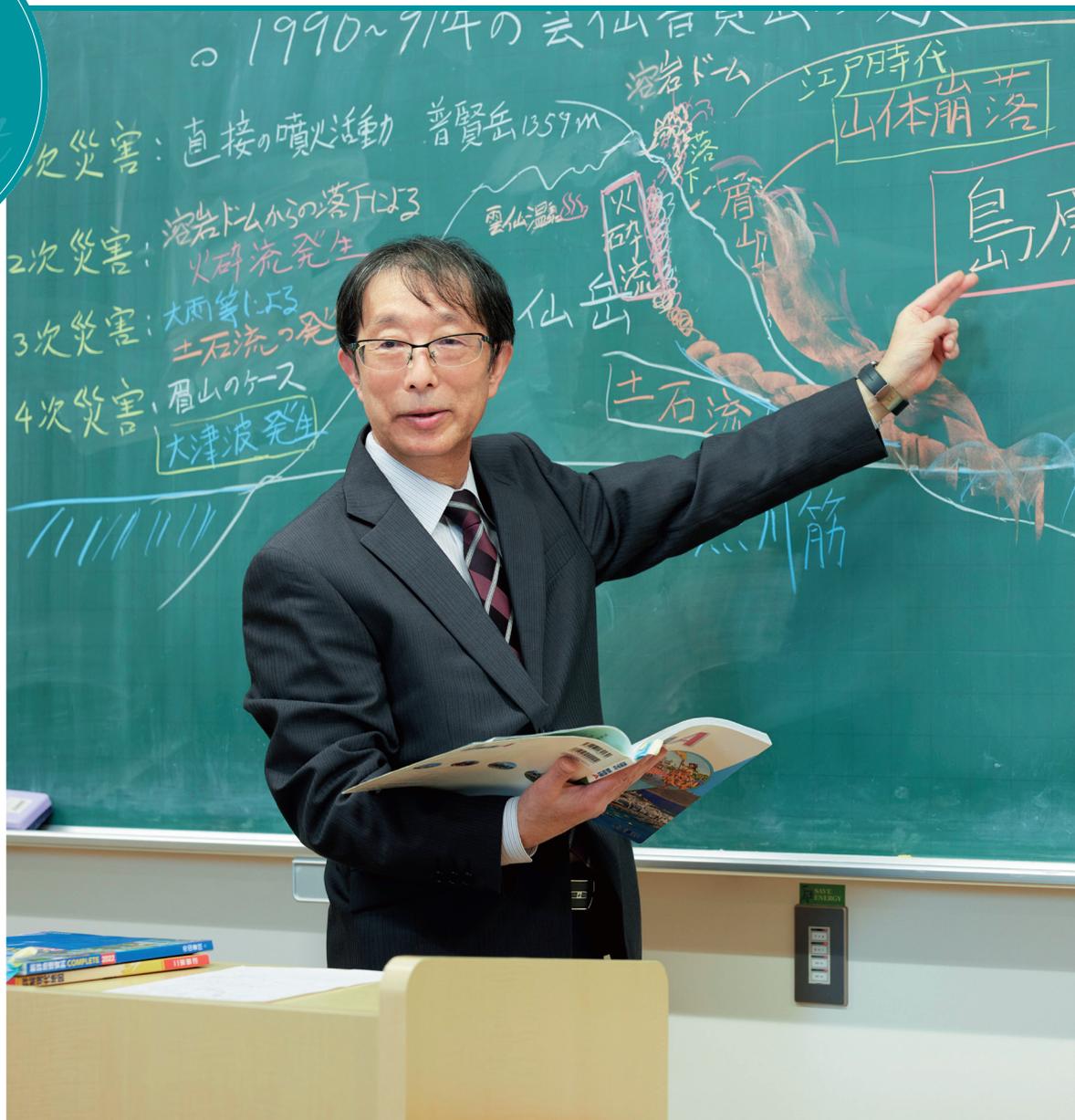
愛用のコーヒーカップたち(左からウェッジウッド、大倉陶園、ヘレンド)

金城学院で活躍する  
先生をピックアップ

## Kinjo Spirit

金城スピリット

軽音楽部の顧問を務め、総勢60名の部員を率いること通算15年。オフには旅や街ぶらを楽しみ、スワローズを熱く応援する。中南米音楽に近づきたいと始めたラテン・アメリカ研究はいまも継続中。教師としての仕事はもちろん、部活も趣味も本気で取り組む黒澤満先生。その底知れぬエネルギーの源は「ORDEME PROGRESSO(秩序と進歩)」の精神。それはいつの間にか周囲も巻き込み、共に何かを成し遂げる力になっています。



### 地理学への出発点はミステリー探究。

笑われるかもしれませんが、謎の遺跡やUFO問題などのミステリー探究が高じて、最初は考古学が充実している大学への進学を考えていました。でも就職のことも考えて、もっと多様な分野と接点がある地理学を学ぼうと思うようになりました。小学校5、6年生の頃から地図を広げて目的地へのルートを確認して自転車で遠出するのが好きでした。あの頃自宅には分野別の百科事典が並んでいて、まず手に取るのは歴史や地理の巻。偶然にも地理の巻の執筆陣には立正大学の先生が多く、自然地理、人文地理、地誌、応用地理と総合的に講座数が充実していることがわかり立正大への進学を決めました。立正大は教養部のキャンパスが埼玉県熊谷市にあり、自然環境の豊かさから最初の2年間は地形、地質、地下水、気候、図学、農工業中心の学び。そして野外実習としての巡検。遠くは航空便がなく、ブラジルに着くほど時間がかかった遠い父島(小笠原諸島)での巡検も忘れ難い思い出です。大学で地理全般を学べたことは満足で感謝だったのですが、中高の頃から中南米音楽を聴くようになり、その世界(+ミステリーな遺跡も多く)にもっと近づきたいと考えていました。そんな折、海城学園から

声がかかり、経済的安定が増したので立教大学ラテン・アメリカ研究所の門をたたき、ラテン・アメリカ講座に4年間通いました。語学(ポルトガル・スペイン語)や地域文化、政治経済など学びは多岐にわたり、立教生・社会人合一の単位制の講座で修了単位には複数年かかるユニークなものでした。

### 因果応報で究めていく。それが地理学の醍醐味。

地理は場所の学問なので、「なぜその場所に特有の存在があるのか、現象がでるのか」を探って、その理由が分かった時は爽快です。「点⇔線⇔面⇔空」と対照範囲は自由自在。自らの感性で範囲を定め、「因果応報」で究めていく面白さがあります。また、地図の読図から思わぬことに気づかされることがあります。地図は面的に表現された中でも一番整合よく表現し、一番多量に情報が詰まっています。活用の成果は読み手次第です。歴史もまた、大きな時の流れ、しかも遡ることができないその時々起きた事柄、出来事、単独で成立していた世界がやがて相互につながり一体化していくことが面白い。また、人類の悲劇の一つとしてあるのが「戦争」ですが、これだけ繰り返されるのも、当事者の者たちが過去の歴史を本当



人とつながり、刺激しあい、さらなる高みへ。

「ORDEM E PROGRESSO」をモットーに



## 黒澤 満 教諭

KUROSAWA Mitsuru

金城学院高等学校  
担当教科 地歴・公民

立正大学文学部地理学科卒業後、国分寺市国分寺遺跡調査会発掘作業員として働く。その後海城学園中学・高等学校で社会科の非常勤講師を務める傍ら、立教大学ラテン・アメリカ研究所ラテン・アメリカ講座で4年間学ぶ。

1987年金城学院高等学校専任教諭として赴任。6年間高校在籍後、中学校に4年間、さらに高校へ異動し、現在に至る。

の意味で大切にしていないからだと思います。まさに「温故知新」です。

### 「ORDEM E PROGRESSO」の姿勢でこれからも。

授業で心がけているのは、地理でも歴史でも本校や、本校の行事などに関わる地域や時代の出来事があれば、できるだけ教材の一つにすること。たとえば本校の修学旅行先は長崎・雲仙・嬉野方面なので、その地域にまつわる授業や課題を出したりしています。また、電子地図の活用など、授業ではパソコンやiPadも使いますが、課題研究ではあえて手書きのものを求めたりしています。その方が一人ひとりの個性がよく出て、発展性があります。先端のもの、変わらず大切なものとの掛け合わせのバランスが肝心かと思います。私が大切にしている言葉に「ORDEM E PROGRESSO」という言葉があります。ブラジル国旗の青い天球の中にある白帯に描かれているもので、日本では「秩序と進歩」と訳されています。「秩序」と聞くと整然と序列ができていようなイメージですが、ここでいう秩序は個々が上下関係なく混然とつながりあい、個々も一つの総体として力を発揮します。生徒たちのさらなる成長を願い、授業、部活、諸行事等の学校生活において、今後も変わらずこの姿勢で励みたいと思っています。

教えて先生！

My Favorite

リオ・デ・ジャネイロのシンボル「キリスト像」。

2016年のリオ・デ・ジャネイロ五輪の時に再訪・観戦。華やかなスポーツの祭典の陰でファベラ（貧民街）は1993年に訪れた時と変わらない姿があり、複雑な思いが残りました。

音楽鑑賞に野球観戦、ミステリー探究、旅、街ぶらと実に多趣味で、しかも熱い！音楽はプログレッシブ・ロックに始まって、ボサ・ノバ、サンバ、タンゴ、レゲエなどの中南米音楽、ジャズ、クラシックまで幅広く楽しんでいます。

### Q. 黒澤 満先生ってどんな人？

#### 地理の授業、最高に面白かった！

地理は暗記科目と思われがちですが、黒澤先生の地理は「今の世界を知る」科目としてすごく役に立ちました。特に先生が定期的に配ってくれる手書きのプリントには「愛」がこもっていて、毎回楽しみでした。

母も黒澤先生に担任してもらいました！

左から  
市川乃彩さん  
金子さくらさん  
矢野真里奈さん  
(共に3年生)



### これからも軽音楽部をよろしくお願いします！

音楽の好みは私たちの世代とちょっと違うけど（笑）、いつも真剣に私たちと向き合ってくれ、感謝です。



左から  
部長の柘植千空さん  
神谷心さん  
岡本菜里さん  
(共に3年生)

### 植木先生 vs 黒澤先生 プロ野球の応援合戦を盛り上げました！

黒澤先生は副校長の植木隆伸先生と仲良しで、それぞれタイガースとスワローズの大ファン。私たちがグッズやイラストで2人のファン心理を煽りました。

左から、奈佐帆夏さん、金本明日華さん(共に3年生)



# 培ってきた女子教育の成果を生かし 女性のみらい作りを応援します。

金城学院大学「女性みらい研究センター」は、2018年4月に開設されました。金城学院大学には、学院として130年以上、女子大学として70年以上にわたる女子教育の実績があり、多くの研究が行われています。「女性みらい研究センター」は、金城学院大学がもつ知を結集し、自立した女性の「みらい創造」に貢献するためのセンターです。

「女性みらい研究センター」が現在行っている具体的な活動には、女子大学ならではの学びである必修科目「女性みらい科目」で使用される映像教材や教材ノートの監修および作成があります。「女性みらい科目」は、女性の生き方や働き方などの多くの選択肢を知り、自分のみらいをデザインするための礎となる共通教育科目です。学問分野にとらわれることなく、女性の健康、こころを知り、適正な情報を収集・分析し、自らをみつめ、論理的な思考を伸ばすことで、課題に直面したときに、問題を発見し、自らを律し協働し、課題解決や目標実現ができる力を涵養します。

## 金城学院大学の教育・研究活動を 動画で公開しています

学外に向けての活動には、「教育・研究オープンリソース～女性に関する教育・研究紹介～」があり、大学ホームページを通じて、文学部、生活環境学部、薬学部、国際情報学部、人間科学部、看護学部の教員が作成した10分以内の動画を公開しています。女性に関する教育や研究だけでなく、地域での教育活動や生活に直結する課題を取り上げた研究活動など広範囲に紹介しています。動画を視聴することで、卒業生、在学生、高校生、中学生やそのご家族、ご友人が金城学院大学の教育や研究を知り、社会全体で女性の「みらい創造」について考えるきっかけになることを期待しています。COVID-19感染蔓延前の2018年度には、対面方式で女性



生活環境学部 食環境栄養学科 教授  
女性みらい研究センター長 丸山 智美

自分らしく輝くみらいをつくりたい女性たちへ

Institute for Women and their Future EST 2018

FOR A BRIGHTER FUTURE

RESEARCHING 研究しています	LEARNING 学べます	COUNSELING 相談できます
女性に囲わりの深いテーマについて研究を行い、女性のみらいに役立つ成果を生み出します。	女性が社会、地域、家庭でいきていく力を発揮できるような多様なプログラムを開発します。	一人ひとりのみらいのために、専門のカウンセラーが女性のキャリアまたは子育てに関する相談に応じます。

教育・研究オープンリソース  
今、その場で学ぶ方法で、女性のみらいにつながる教育・研究を動画公開しています。教育・研究紹介の動画が、あなたの気づきと学びのきっかけになりますように。

女性みらい研究センターホームページ内の「学べます」はこちら  
<https://mirai.kinjo-u.ac.jp/college/index.html>

QRコード

悩みは成長するチャンス  
わたしたちがこれまで培ってきた伝統ある女子教育の実績に基づき、次の時代を生きる女性のために研究を続け、発展させます。

金城学院大学 女性みらい研究センター

リーダーシップ研究の動向と課題についての講演会「女性みらい活躍フォーラム」や、講座「人生100年時代のライフデザイン」を開催しました。現在は、感染症との共存による新しい生活様式が安定する時期に向けて、新しい方法での社会に向けた情報発信方法を検討しているところです。研究面では、女性に関する基礎研究を2021年度から始めました。現在、データを解析中です。解析が終了した際には、その結果を広く社会に発信する予定です。金城学院大学は、それぞれが自立した女性である卒業生を有しています。仕事、子育て、介護、地域活動、ボランティア、趣味、社会貢献などで、さまざまな役割を担い、自分ならではの人生を紡いでいる卒業生の生き方は、年代の異なる女性たちのロールモデルです。自立した女性のみらいを創造するには、さまざまな年代の女性一人ひとりが、悩みやその乗り越え方、できることやすべきことなどを、個々人で考え続け実行することが必要でしょう。「女性みらい研究センター」は、金城学院がこれまで培ってきた女子教育の実績に基づき、今の時代、そして次の時代を生きる女性のために研究を続け、発展させ、さまざまな年代の女性のみらい作りを応援してまいります。



▲ キリスト教神学「歴史神学」「宣教学」の公開動画

女性みらい研究センター  
ホームページ内  
「学べます」はこちら ▶

<https://mirai.kinjo-u.ac.jp/college/index.html>

QRコード





## 幼稚園50周年記念遊具が完成しました。

「わあ、素敵な園庭ですね。」

初めて来園された方から、こんなふうには言ってもらえると嬉しくなります。子どもたちにとって遊びは、心や身体を大きく成長させます。豊かな自然を生かした環境は、豊かな遊びを保障してくれます。

園庭には、築山やトンネル、専門家の方々と保育者とお父さんたちがロープワークで作った遊具(太鼓橋・モンキーブリッジ・ブランコなど)があり、子どもたちは創造力と想像力を働かせながら、友だちと一緒に遊んでいます。例えば、太鼓橋は上って降りだけではなく、家に見立てて家族ごっこをしたり、時にはドロケイの基地になることもあり、遊びによってその姿を変化させます。

金城学院幼稚園の園庭の構想は、1986年に自主セミナーとして当時の保育者が行った様々な分野の方々と勉強会の中で、「子どもの遊びを豊かにする園庭とは？」を考えていた時期に芽生えました。1997年に正式に「園庭整備委員会」が発足し、既成の保育遊具を設置するのではなく、その時々の子どもの遊びを受け止め変化し続けるような、遊びがより豊かになる園庭として設計されました。

山やでこぼこのある園庭は整備も大変ですが、年4回園庭ワークという日を設けて、在園児の親子や卒園児、未就園児にも参加していただき、自分たちの手でメンテナンスを行っています。子どもたちが自ら主体的に遊ぶ要素がたくさん詰まった園庭は、多くの方々の手によって今も守られているのです。



10月28日に開かれた新遊具お披露目会。

### 幼稚園50周年おめでとう！

今年の夏、幼稚園設立50周年記念行事の一環として、園庭に新しい遊具が誕生しました。築山の高低差を生かした雲梯とターザンロープを使ったロープウェイです。子どもたちの姿を踏まえ、保育者がアイデアを出し合い立案した金城オリジナルの遊具なので、設計から完成までには多くの学院関係者の方々、業者の方々が携わっていただきました。

2学期の始業礼拝後には、待ちに待った「新遊具お披露目会」を開催。年長児が中心となってお祝いの歌をうたい、「おめでとうございます！」とメッセージを伝えました。新遊具の完成を皆で喜び合う姿、「早く遊びたい！」と目を輝かせる子どもたちの姿は、50年間大切にしてきた想いが今も受け継がれていると感じる瞬間でした。

新しい遊具には早速長い列ができ、子どもたちが喜んで遊んでいます。年長児を見て挑戦しようとする年下児の姿、年少児に遊び方を教える年上児の姿は微笑ましく、異年齢児が育ちあう環境もより豊かでありたいと思います。

これから新しい遊具を使って子どもたちがどのような遊びを創り出していくのか、進化していく園庭の未来が楽しみです。

うん てい  
雲梯



完成した雲梯は子どもたちに大人気。



ロープ  
ウェイ



ロープウェイでターザン気分を楽しむ子どもたち。

## 金城学院高等学校グリークラブが 全日本合唱コンクール全国大会で銀賞受賞。

2022年10月29日、青森市のリンクステーションホール青森で第75回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟/朝日新聞社主催)が開かれ、高校部門Aグループ(6人以上32人以下)で出場した本校のグリークラブが銀賞を受賞しました。愛知県大会、中部支部大会を勝ち抜いて臨んだもので、本校の全国大会への出場は5年ぶりの快挙でした。そこで、グリークラブ顧問の宮木令子先生と、部長の横山盟さん、副部長の山田かりなさんに話を聞きました。



左から横山盟さん、宮木令子先生、山田かりなさん

### 大会最小人数でつかんだ銀賞

1年生から3年生まで、部員全員の16名で臨んだ全国大会。高校部門では最小人数の出場でしたが、見事銀賞をつかむことができた要因は、「人数が少ない分、一人ひとりが頑張っ  
てしっかり声を出せていたこと。一つひとつの歌詞、言葉が聴いている人にきちんと届いたこと」と、宮木令子先生。横山さんは、「本番前に“みんなで楽しもう!”と声をかけあったことで、いつも通り、最後まで楽しく歌えました」。山田さんも、「こういう舞台は初めてだったので、最初はガチガチに緊張しましたが、それでリラックスでき、自信を持って歌うことができた。心強いメンバーたちにも感謝です」と振り返ります。コンクールの課題曲はラテン語の曲「Quam pulchra es」(John Dunstable作曲)。自由曲はぐっと雰囲気を変えて、歌人永井陽子さんの短歌がもとになっている「無伴奏女声合唱のための『フォルテは歩む』」(信長貴富作曲)から、『ガリレオの望遠鏡』『べくべから』など4曲を披露。歌詞と旋律から感じとった情景を、息のあったハーモニーで表現しました。

### グリーのメンバーがいるところには、 いつも歌がある

3年生の横山さんと山田さんにとって、今年はグリークラブでの活動は最後の年。思えば、2人が高校に上がった時は

すでにコロナ禍の渦中。愛知県に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されている期間は活動禁止。中学・高校の部員交流は禁止。合宿も中止。定期演奏会やメサイア演奏会も、開催中止(2020)や制限付き開催(2021~22)など、厳しい現実と直面しました。また、今年こそ考えていた海外演奏旅行も叶いませんでした。

現在はかなり緩和されたものの、練習時はマスク着用、メンバー同士向きあわない、左右1メートル、前後2メートルの間隔を取るなど、合唱部の活動としては厳しい状況が変わらず続いています。「それでもやってこれたのは、みんな歌うことが好きだから」と、山田さん。「自分が出した声全体にピタッとハマり、自分の声も綺麗に聴こえる時がある。そんな幸せを感じる瞬間があるから、6年間続けてこれました(横山さん)」。

今年の11月23日、愛知県芸術劇場コンサートホールで開かれる学院伝統のメサイア演奏会では、グリークラブの中学生メンバーや管弦楽部と共演。12月には各地で行うクリスマスコンサート、来年3月には愛知県芸術劇場コンサートホールでの定期演奏会など、大事なイベントがいくつも待ち受けています。銀賞受賞の余韻に浸るまもなく練習に励む毎日ですが、部員たちの表情には歌うことへの喜びがあふれています。



◀中部支部大会にて





## 笑顔の花を咲かせよう！をテーマに「思考力ワークショップ」を開催しました。

夏休み中の8月20日(土)、「レゴ®シリアスプレイ®」メソッドを活用した「思考力ワークショップ」を行いました。参加したのは1年生31名。この日のテーマは、「笑顔の花を咲かせよう!! ~この世界(社会)を笑顔でいっぱいにするために、私たちのできることを考えよう~」。参加生徒は正解のない問いに対して、自分たちなりの視点で粘り強く考えていくことにチャレンジしました。ワークショップをふり返って、企画・開催に携わった近藤浩子先生と福田順先生に話を聞きました。

### 遊び心いっぱいのレゴ®で 思いを見える化し、言語化する

「レゴ®シリアスプレイ®」は、レゴ®ブロックを学びの道具として使い、「作品を作る」→「作品を発表する」→「作品をもとにグループ内で対話する」といったプロセスを通して、思考力や課題解決力を鍛える手法です。本校では2020年度より導入し、「Dignity」の授業などで活用しています。

今回のワークショップでは、生徒たちは5~6人のグループに分かれてワークに取り組みました。まずは、与えられたテーマ「この世界を笑顔でいっぱいにするために私たちができること」について、一人ひとりが頭の中で思い描いたイメージをレゴ®で表現します。それぞれ作品ができ上がったら、グループ内で順番に自分の作品の意図を説明します。最後はお互いの作品を持ち寄り、組み合わせることでひとつの作品(共有モデル)をつくり上げ、さらにそのモデルに表れている問題に対しての要因と、自分にできる解決策を話し合いました。

### 作品の一例をご紹介します

#### 個人作品『私の考える笑顔があふれる世界。』



グループ全員のアイデア、こだわりを結集させた共有モデル。

### 内に秘めた思いに気づいたり 他者との違いを楽しんだり

レゴ®シリアスプレイ®のよいところは、正解も不正解もないこと。みな、平等に時間と機会が与えられ、誰一人として取り残さないこと。とにかく手を動かしてレゴ®を組み立て、発表し、対話を重ねるうちに、普段なかなか言語化しにくい、もやもやした思いや考えを自分の言葉で語れるようになります。話すことが苦手な生徒も、レゴ®を介することでハードルが下がり、話がしやすくなります。自分の考えを語り、相互理解を深めるなかで、「自分はこんなことを考えていたんだ」と自身が内面に秘めている思いに気づいたり、人の数だけ多様な考え方があることに気づいて、議論の幅が広がったり。時間を忘れ、夢中になって取り組む生徒たちの姿は、教員たちの想像を遥かに超えるものでした。

レゴ®などを活用した取り組みはこれで終わりではありません。今後も、自分たちの身の回りのちょっとしたテーマを取り上げ、自分ならではの視点で問題点を切り取り、その解決策を探っていくワークに継続的に取り組むこと。そうした小さな積み重ねが、やがてSDGsのような社会課題を自分ごととして捉え、行動する力につながっていくことを願っています。



## 寄付金の お礼とご報告

金城学院へのご寄付をいただきまして、心より感謝申し上げます。今号では2022年6月から2022年10月末日までにご寄付をいただきました方々のご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。みなさまからのご厚志を有効に活用させていただきます。今後とも金城学院へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 寄付者ご芳名録

(敬称略・順不同)

林 悦子	加藤 正 勉	藤原 みどり	鈴木 栄 樹	高橋 潤	倉戸 美 穂	河野 裕 康
吉川 紀代子	分 部 尾 上	長谷川 真 弓	黒田 麻友香	伊藤 泰 弘	加藤 義 啓	堀 場 武
近藤 朱 里	種 田 美佳子	袴 田 純 子	植 田 千 春	伊藤 秀 夫	大前 千代美	中 田 路 実
吉田 眞 弓 Iacobacci	井 上 瑞 穂	加 藤 歌 子	大 島 卓 郎	高野 幸 彦	坂 倉 弘 靖	木 村 尚 仁
小 栗 君 代	大 野 友 寛	小 松 昌 義	川 井 一 浩	小 澤 幸 穂	土 井 君 子	咲 間 美 聡
奥 田 高 久	大 西 康 代	村 尾 静 枝	林 まどか	森 川 信 義	寺 尾 淳 子	二所宮 彩
兄 山 崇 浩	日 永 美知代	金 田 昌 敏	三 浦 剛	水 野 孝 子	滝 川 林 弥	キリスト教保育 連盟東海部会
澤 田 功 子	武 藤 玲 子	加 藤 邦 子	村 崎 徳 俊	近 藤 康 夫	坂 本 富 子	
尾 関 設 子	谷 はな枝	溝 口 洋 子	林 哲 也	築 田 暁 美	金 海 勇	
加 藤 潮 音	山 田 登志子	松 田 聖 士	加 藤 麗 名			
大 野 優 里	佐々木 祐 実	金 光 哲	佐 藤 温			
大 見 典 子	小 塚 貫 幸	水 谷 美 恵	大 澤 政 子			
今 井 和佳子	茅 壁 幸 子	藤 原 雅 憲	廣 澤 一 郎			
日 高 み代子	井 口 愛 子	榊 原 基 哲	中 西 久 子			
	菊 地 那智子	堀ノ内 尚 子	立 木 敦 子			

寄付者	件数	寄付目的	寄付金額(円)
ご父母	44	修学奨学金	654,000
教職員(元教職員含む)	12	本学院発展	6,536,000
卒業生	49	その他	65,000
その他	13	総計	7,255,000
総計	118		

※匿名希望及び掲載の可否を確認できない方 29件  
同一寄付者による複数回の寄付 5件

## 金城学院 維持協力会

金城学院維持協力会は、「金城学院の教育活動に対する支援と、さまざまな社会環境の変化に対する適切な助言を行うことによって、金城学院の維持・発展に寄与すること」を設立の趣旨とし、2011年度に発足されました。現在、東海地区を代表する有力企業などにご賛同いただき、ご入会いただいております。

## 維持協力会ご芳名録

(敬称略)

### ■ 法人

愛知株式会社  
株式会社アイビーネット  
株式会社アイワット  
株式会社明石スクールユニフォームカンパニー  
アット・ワンス株式会社  
株式会社アドマテックス  
天野商事株式会社  
エヌビーエス株式会社  
株式会社オティックス  
株式会社カミヤマ  
株式会社キクタク  
教育産業株式会社  
株式会社杏林堂薬局  
金城学院大学生協同組合  
株式会社きんでん 中部支社  
グリーンシティケーブルテレビ株式会社  
ココマーケティング株式会社  
株式会社sus4  
三協立山株式会社 三協アルミ社  
三建設備工業株式会社 名古屋支店

株式会社三見社  
株式会社産通  
サンメッセ株式会社  
株式会社シーアールイー  
株式会社シーオーエー  
株式会社ジェイエスティ  
敷島製パン株式会社  
株式会社正文館書店  
株式会社進研アド  
株式会社新東通信  
スギホールディングス株式会社  
株式会社スギヤマ薬品  
セクダム株式会社  
株式会社瀬古写真館  
瀬戸信用金庫  
株式会社大学通信  
大成建設株式会社 名古屋支店  
大成有業不動産株式会社 名古屋支店  
大成ロテック株式会社 中部支社  
ダイダグン株式会社 名古屋支店  
中央電気工事株式会社

株式会社中京テレビサービス  
株式会社中部キャラバン  
中部電力株式会社  
中部土木株式会社  
中部日本放送株式会社  
電子システム株式会社  
東海東京証券株式会社  
東海報知機株式会社  
東邦ガス株式会社  
トリニティー株式会社  
有限会社永井抱陽写真館  
株式会社中日本造園土木  
エスパシオエンタープライズ株式会社  
株式会社名古屋銀行  
NTP名古屋トヨペット株式会社  
日本管財株式会社  
株式会社日本ドリコム  
トヨタモビリティ東名古屋株式会社  
表示灯株式会社  
株式会社ファインメディカル  
福玉精穀倉庫株式会社

株式会社ブランナーズブランド  
株式会社朋和商事  
株式会社マイナビ  
丸善雄松堂株式会社 名古屋支店  
株式会社三菱地所設計  
三菱電機ビルソリューションズ株式会社  
中部支社  
株式会社名北調剤  
株式会社ヤマハミュージッククリテリング  
一般社団法人 ライフ予防医学センター  
リンナイ株式会社  
キョーワ薬局株式会社

### ■ 個人

浅井 清司 岡本 浩延  
杉浦 孝洋 野田 清衛  
橋本 修三 山田 隆雄  
吉岡 肇 半谷 眞一郎

2022年10月末日時点

# Christmas Special Calendar

## クリスマス行事のおしらせ

### 金城学院大学

#### ハンドベルクワイア クリスマスコンサート

**日時** 12月10日(土)  
16:45開場 17:30開演

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

**入場料** 一般 1,500円

#### 大学クリスマス礼拝

**日時** 12月15日(木) 17:00~18:00

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

**説教者** 和田 芳子  
(日本基督教団東海教会牧師)

**特別讃美** 大学クワイア  
大学ハンドベルクワイア  
大学ハーブアンサンブル部

※参加は在学生・教職員に限らせていただきます。

### 金城学院高等学校

#### クリスマスハンドベルクワイア演奏

**日時** 12月17日(土) 13:30

**出演** 高校ハンドベルクワイア

**場所** 久屋大通公園エディオン久屋広場

**日時** 12月24日(土)・25日(日) 13:00

**出演** 高校ハンドベルクワイア

**場所** ミッドランドスクエア

#### クリスマスグリークラブコンサート

**日時** 12月17日(土) 16:00

**出演** 高校グリークラブ

**場所** 徳川園

**日時** 12月24日(土) 13:30

**出演** 中学校・高校グリークラブ

**場所** 久屋大通公園エディオン久屋広場  
※雨天等で中止の場合あり。

**日時** 12月24日(土)・25日(日) 16:00

**出演** 中学校・高校グリークラブ

**場所** ミッドランドスクエア

### 金城学院幼稚園

#### にじぐみクリスマス礼拝(満3才児)

**日時** 12月14日(水) 10:45

**場所** 金城学院幼稚園

#### クリスマス讃美礼拝(親子)

**日時** 12月15日(木) 9:50

**場所** 金城学院幼稚園

#### クリスマス親子礼拝

**日時** 12月17日(土) 13:30

**場所** 金城学院大学  
アニー・ランドルフ記念講堂

#### プログラム

- ◎礼拝
- ◎金城学院大学ハンドベルクワイア  
ミニコンサート
- ◎年長児キャロリング



### 金城学院中学校

#### クリスマスハンドベルクワイア演奏

**日時** 12月11日(日) 14:00

**出演** 中学ハンドベルクワイア

**場所** 栄聖書教会

#### クリスマスグリークラブコンサート

**日時** 12月24日(土) 13:30

**出演** 中学校・高校グリークラブ

**場所** 久屋大通公園エディオン久屋広場  
※雨天等で中止の場合あり。

**日時** 12月24日(土)・25日(日) 16:00

**出演** 中学校・高校グリークラブ

**場所** ミッドランドスクエア

## KINJO INFORMATION

### 金城学院オリジナルグッズ 新商品・発売予定のお知らせ

#### 『中学校高等学校 長屋頼子校長 監修』リポントートバッグ誕生!!

このたび、金城学院中学校・高等学校の制服やスクールバッグ、カーディガンを長らく作成いただいていた、ラモード・カジウラ様と長屋校長がコラボし、2種類のリポントートバッグを企画、制作しました。

#### キャンバスリボン トートバッグ

可愛いキャンバス生地のリポントートバッグ。内側には便利な大きめのポケットがついています。学用品やお稽古用品を入れたり、お出かけ時など、幅広くお使いいただけます。



#### ナイロンリボン トートバッグ

シックなリポントートバッグ。校章をリボンに付けて、可愛らしさもアピール! 外側ポケットはファスナー付き、内側ポケットは3つ(1つはファスナー付き)、使い勝手は抜群です! 普段使いにも、お出かけにも、幅広くお使いいただけます。

#### 金城学院オンラインストア

商品の詳細情報やご注文はこちらから  
<https://kinjo-gakuin.com/>



#### 完売御礼

2022年7月より販売しておりました「フェイラーハンカチ」は大変好評いただき、完売となりました。次年度も、新たなデザインを企画しています。販売予定は金城学院アプリなどでお知らせいたします。



クリスマスメッセージ



天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。」

[新約聖書 ルカによる福音書 第2章10～11節より]

～ クリスマス—それは喜びをも伝える時～

あなたがたのために救い主がお生まれになった—この出来事が最初に告知されたのは、野宿していた羊飼いたちに對してでありました。彼らはイエス様のご降誕を見届けた後、喜びの歌を歌いながら帰っていったと言います。ところで、ある社会学者は、現代日本の〈孤立・孤独〉社会にあって、「誰かによって大切にされている・愛されている存在なのだ」と知ることが重要ではないだろうか、と述べたことがありました。神様が共にいて下さる—どうか、この喜びを心に刻んだ私たちは、今度はその喜びを、今思い起こすことのできるあの人・この人へ、「クリスマスおめでとう」というメッセージと共に伝えていくこともまた出来ますように。

落合 建仁 (金城学院大学文学部宗教主事)

### みどり野会(同窓会)より

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です。『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)、旧約聖書の詩篇第23篇から名付けられました。

主はわが牧者なり われ乏しきことあらじ  
主は我をみどりの野にふさせ  
いこいの水濱にともなひたまふ

神さまによってこの学院に集められた私たちが卒業後も母校に集まり、いこいの時を過ごす場という意味で「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです。

### お知らせ

#### 2023年度 みどり野会設立記念総会

- 日 時：2023年4月15日(土) 10:30～14:00
  - 場 所：名古屋東急ホテル
  - 礼 拝：日本基督教団名古屋中央教会 草地 大作 牧師
  - ◎ 要申込：みどり野会事務局までお申し込みください(会費制)
- ※総会後の愛餐会でミニコンサートを予定しております。

※イベント予定の変更がある際は、みどり野会HPにてご連絡します。

お問合せ先 電話：《本部》052-931-4480(中学校白百合館1階) / 《分室》052-798-0193(大学本部棟4階)  
[みどり野会事務局] <https://www.kinjo-midorino.com> ※活動詳細は会報『みどり野104号』をご覧ください。

### 寄付金募集について

これまでの金城学院への様々なご支援に心より感謝申し上げます。今年度もご寄付をお受けしております。2口以上ご寄付賜りました方には本学院より心ばかりの品をお送りさせていただきます。

#### 寄付金の使途

1. 修学奨学金のため
2. 本学院発展のため

2項目からお選びいただけます。

寄付に関する詳細は寄付リーフレット及びホームページをご覧ください。

<https://www.kinjo-gakuin.jp/donation/about/index.html>



学校法人 金城学院  
名古屋市守山区大森二丁目1723番地  
TEL.052-798-0180  
発行者 / 金城学院報編集委員会  
金城学院報通巻第110号  
(with Dignity vol.40)  
発行 / 2022年12月

表紙について

#### 金城学院幼稚園

開園は1972年4月。現在の園舎は1995年に完成したもので、エントランスホールの西側には3つの保育室と遊戯室、事務室&医務室、キッチン。東側には3つの保育室。園舎の真ん中にある遊戯室の正面には大きなステンドグラスがあり、十字架を形作っています。金城学院大学の広大なキャンパスに隣接し、豊かな自然も子どもたちの遊び場となっています。

#### with Dignity

金城女学校・第6代校長であるエラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として“You must have dignity”と話しかけたことに由来しています。“dignity”は、尊厳・品位の意。

本誌「with Dignity」は、学院へのご寄付を賜りました皆さま(直近5年以内)、金城学院維持協力会員の皆さま、金城学院の園児・生徒・学生・教職員へ配布しています。また、金城学院のホームページ(<https://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。住所変更や購読中止を希望される方はホームページからご連絡ください。